

Pierを活かした海岸づくりの提案

—沿岸域における地方創生に向けて—

2016年4月

沿岸域における地方創生研究会

PIERS研究会

はじめに

PIERS 研究会は 2013 年から 3 か年にわたり英国の棧橋 (Pier) 調査を実施してきました。調査開始以来年々、英国棧橋の魅力、海岸リゾートの素晴らしさ、そこに集う人々の楽しむ姿にすっかり魅了されてしまいました。毎年調査終了後、調査棧橋の歴史と現状、英国における棧橋と海岸整備の特徴などを報告書として取りまとめました。3 か年の調査の成果として「3 年間の英国棧橋巡りを終えてー英国棧橋から学んだことー」を発刊しました。英国棧橋の魅力と英国の人々がどれだけ棧橋を愛し、海岸リゾートの生活をエンジョイしているか再確認することになりました。英国の人々が棧橋や海岸リゾートの生活を楽しんでいるように、わが日本でも同様に楽しむことが出来るのではないかとの想いを強くしました。

棧橋調査に参画した企業・団体や個人に呼びかけ、棧橋 (Pier) を活用して沿岸域の魅力を倍増させようとの意気込みで「沿岸域における地方創生研究会」(以下、沿創研という) を立ち上げました。今回の資料の取りまとめに当たっては、棧橋の候補地、機能や構造などは沿創研のメンバーの自由な判断で行い、地元の自治体や関係者との調整は行ってはなりません。作業の過程で地元自治体や関係者の皆さんにお世話になった事を御礼申し上げます

作業の成果は関係の皆様にご覧いただけるレベルにあると思います。今後、地元事情の読み込みや地元ご意向を取り込んで、プロジェクトに発展できれば喜ばしいこととなります。ここにお示しした候補地のほか、全国の海岸には多くの適地があります。各地で Pier を生かした海岸づくりが検討され、近い将来、暮らしの舞台であり、年間を通じて楽しめる海岸に生まれ変わることを心から期待します。

最後に、今後とも沿創研並びに PIERS 研究会の活動にご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます

沿岸域における地方創生研究会 座長
PIERS 研究会会長 古土井 光昭

目 次

1. 沿岸域における地方創生研究会の概要	1
1-1 設立経緯	
1-2 組織	
1-3 対象海岸・検討体制・活動	
2. 英国の棧橋の魅力	3
2-1 英国の棧橋	
2-2 棧橋の魅力	
2-3 エスプラナード	
2-4 英国人は海岸を目指す	
3. Pier を活かした海岸づくりの提案	9
3-1 対象海岸の特徴	
3-2 ケーススタディの進め方	
3-3 海岸づくりの提案（ケーススタディ）	
(1) 大洗港海岸（茨城県）	13
(2) 館山港海岸（千葉県）	23
(3) 湘南海岸（神奈川県）	34
(4) 新潟西港海岸（新潟県）	48
(5) 熱海港海岸（静岡県）	62
(6) 神戸港須磨海岸（兵庫県）	76
(7) 別府港海岸（大分県）	88
(8) 那覇港・豊見城海岸（沖縄県）	98
4. 豊かな海岸づくりの実現に向けて	107
4-1 実現への課題	
4-2 提言	
＜参考＞	
1. 参考文献	111
2. これまでの検討経緯	111